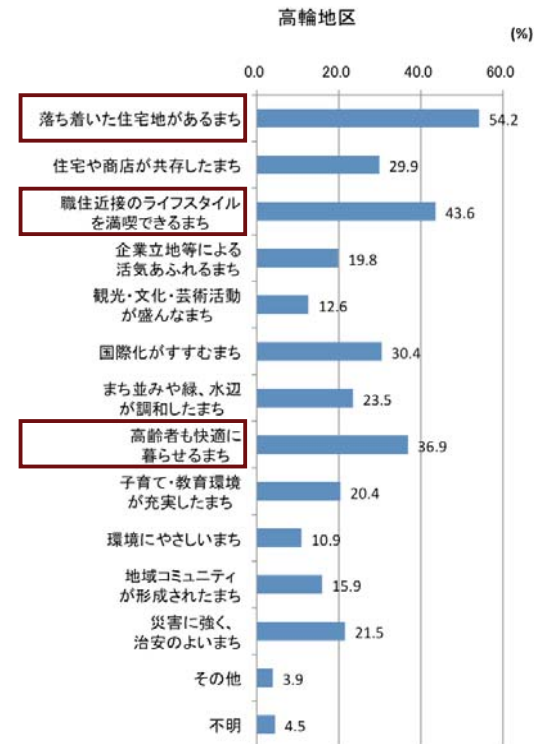
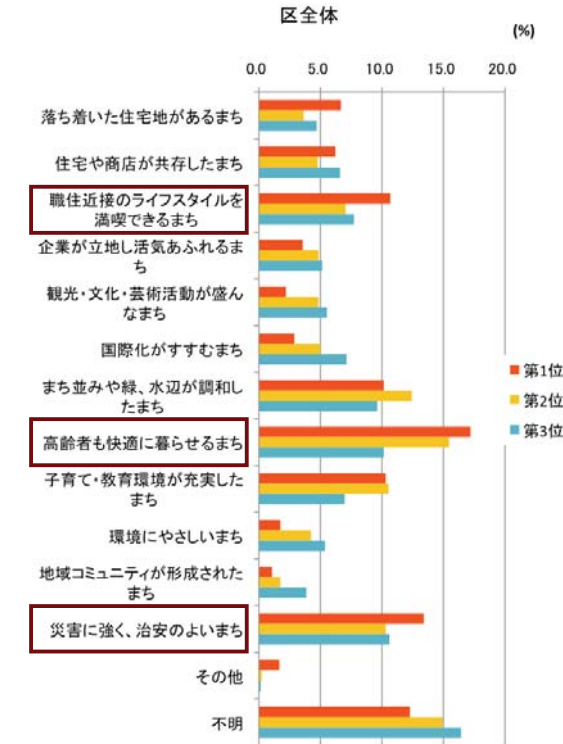


◆◆将来都市像に関する区民アンケートの結果◆◆

現在のまちのイメージ

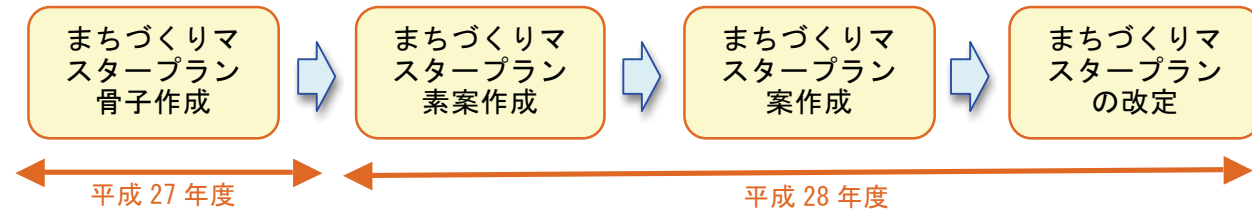


今後のまちのあり方



◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



◆◆次回、第3回意見交換会は以下の日程で開催します◆◆

地区	日時	場所
芝地区	1/14 (木) 18:00~20:00	芝公園区民協働スペース (芝公園保育園内)
麻布地区	12/22 (火) 18:30~20:30	麻布区民協働スペース (麻布保育園内)
赤坂地区	1/12 (火) 18:30~20:30	赤坂区民センター
高輪地区	1/13 (水) 18:30~20:30	高輪区民センター
芝浦港南地区	1/18 (月) 18:30~20:30	芝浦区民協働スペース
台場地区	1/8 (金) 18:30~20:30	台場区民センター

まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。
港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当
TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239
〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

港区まちづくりマスタープラン 意見交換会ニュース

高輪地区
No.2
2015.11.10

高輪地区での第2回意見交換会を開催しました

平成 27 年 11 月 10 日 (火) の 18 時 30 分から高輪区民センターで、港区まちづくりマスタープランについての高輪地区での第2回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

第1回意見交換会では、地区の魅力と課題についてご意見をいただきましたが、第2回意見交換会では、「港区を取り巻く状況の変化」や「将来都市像」について、スライドで紹介した後、3つのグループに分かれて「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」について意見交換しました。

出された意見を模造紙にまとめ、グループごとに発表してもらいました。意見の詳細は裏面をご覧ください。

グループでの話し合いは1時間程度でしたが、意見やアイデアを出し合って、活気ある話し合いになりました。また、グループごとに要点をまとめて発表していただき、時間通りに終了することができました。

第3回意見交換会では、「地区の課題や問題を解決するためにどのような取組を行えばいいか」についてご意見をいただく予定です。



まちづくりマスタープランとは

- おおむね 20 年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特性に応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面を含めた計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細かな地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 各地区 3 回程度開催する予定で、2 回は既に開催しました。3 回めの予定は最後のページに紹介しています。

様々なまちの将来都市像が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

グループ①

【将来都市像】

生涯安全で、楽しく
住み続けられるまち

歩道の広い 歩きやすいまち

- ・道路のバリアフリー化を推進してほしい。
- ・歩道を広く、明るい道路をつくってほしい。

駅の利便性の高いまち

- ・駅のバリアフリー整備を進めて欲しい。

ちいばすを便利に

- ・ちいばすの路線拡充をしてほしい。

交通ルールを守るまち

- ・自転車の交通ルールの徹底化を図ってほしい。

世代間交流のあるまち

- ・色々な世代が集まって一緒に住む。(交流シェアハウスなど)
- ・お年寄りのアイデアを聞く会を開いてみてはどうか。
- ・定年後の男性をまちづくりに駆り出す仕組みづくりを。
- ・若者から高齢者まで一緒にまちづくりを考えたい。

にぎわいを創出し、人を呼べるまち

- ・魚らん坂商店街のにぎわいを取り戻して欲しい。
- ・地方との連携で、産直の市場をつくってはどうか。
- ・ビルの屋上に農園を作ってみてはどうか。
- ・全国のアンテナショップが立ち並ぶ商店街で人を呼ぶ。

区民と行政が連携

- ・行政が先行するのではなく、住民の意思を十分に取り入れる。

緑が多く、楽しく交流 できるまち

- ・緑が多く、歩くことが楽しいまち
- ・老人と子どもが気兼ねなく交流できる公園づくり

多様な文化で 交流できるまち

- ・どこの自治体にもない文化都市の形成。
- ・多様な文化がしみ出るまちをつくってほしい。

災害に強いまち

- ・地下水を活用し、各町会に1箇所井戸を掘り、災害に備えてはどうか。

グループ②

【将来都市像】

おだやかなまち～交流
があり、安全に暮らせる～

町会はゆるいつながりで参加の拡大を

- ・マンション住民のコミュニティをどう維持するかが課題。
- ・町会が連携したイベントの企画を区も支援してほしい。

外でいきいきと 過ごせるまち

- ・空き家をサロンに。町内での交流スペースになる。
- ・案内スポットを設ける。

介護と助け合い、交流

- ・老老介護が予測されるので、施設を増やす。
- ・多世代交流の推進を。

緑豊かな環境をつくり、残す

- ・港区にはこれ以上マンションは必要ない。
- ・港区の人口は30万人とのことだが、少子化の傾向と思う。
- ・高層建築物は更新時期を迎えたらどうするのか。
- ・低い建物で自然環境を活かすべき

災害時の対応を

- ・港区は昼間人口が急増している。防災対策が急務である。
- ・一時避難所の増設。(公園整備)

安全性の確保

- ・自転車事故が多い。根本的対策が必要。
- ・羽田空港航路の拡大は危険と隣合わせです。オリンピックはやむを得ないが、観光客という経済のための危険は納得できない。
- ・安全性、危機管理が大事。

若い人に夢を持ってもらう

- ・若い人に夢を持ってもらうために先生を育てる。
- ・若者の意見を取り入れる。

景観・まち歩き

- ・公衆トイレの増強。例：歩道上など
- ・屋外広告物の規制の強化。

グループ③

【将来都市像】

住み続けられる／心地
良く住むことができる
／住民にやさしいまち

住み続けられるまち

- ・高齢者になっても住み続けられるまちにしたい。
- ・ファミリー層が住みにくいまちなのだと思う。子育て世代が住みやすいまちにして、子どもを増やしてほしい。

新しい技術の活用

- ・LRTなど利用者が利用しやすい交通システムを活用する。
- ・暮らしやすいまちにするためにITを活用する。

良好な景観が形成されているまち

- ・来街者も楽しめるような美しい景観を形成する。
- ・高輪は美しいまちなので、例えば、環状2号線などパリの街並みのような、おしゃれなシティーロードにしてほしい。
- ・高層マンションだけの無機質な景観は良くない。

うるおいのあるまち

- ・緑の多い、うるおいのあるまちにほしい。

水辺空間の活用

- ・住民が行きやすい、憩いの水辺空間がほしい。

歩行者にやさしいまち

- ・狭い歩道の拡幅を優先して考えてほしい。
- ・道路上に電柱があると歩きにくい。電線地中化を。
- ・自動車の流入を少なくし、住んでいる人のためのまちをつくってほしい。環状4号線は不要ではないか。
- ・高速道路のないまちにしてほしい。環状道路ができれば首都高は不要。景観的にも邪魔ではないか。

【参考】検討委員会での将来都市像やまちの姿についてのご意見

- 「住み続けられるまち」では、港区の特徴である“職住近接”についても加えてはどうか。
- 「个性的で多様なまち」では、地区の多様性だけではなく、港区の特徴である人々の“多様性”を活かしていくことも加えてはどうか。
- 「安全・安心なまち」では、交通安全についても加えてほしい。犯罪より交通事故は多い。
- 「世界に開かれたまち」という視点を加えた方がよい。大使館や国際企業、ホテル等、日本の国際化における港区の重要性がわかる資料がほしい。